



えのきどう
榎堂前での記念写真

(昭和20年代の10月) (田島政治さん提供)

秋の流鏝馬祭りでの的宿(毛呂本郷)に集合した一行が榎の前で撮影した写真です。写真の榎は、その後枯れてしまい、昭和35年ごろ新しく植えられたそうです。なお撮影が10月なのは、かつて、流鏝馬祭りが「おくんち」と呼ばれる10月29日に開催されていたためです。

現在の風景

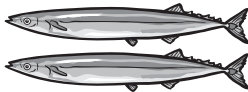


募集中

昭和50年代ごろまでの昔の写真を集めています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112 内線332までご連絡ください。

徒然歳時記

ま
秋刀魚



落語に「目黒の秋刀魚」という噺があります。殿様が鷹狩りの途中、海から離れた目黒の農家で供されたサンマの美味が忘れられず、後日家臣に所望したところ、このように脂が多いものをさしあげて、お体に触っては一大事と、蒸して脂を抜いたパサパサのサンマを出しました。そして、「このサンマ、いずれよりとりよせたのじゃ?」「日本橋魚河岸にござります」「あ、それはいかん。サンマは目黒にかぎる」という落ちで終わります。

落語にも登場するほどよく知られているサンマですが、一般的に広く食されるようになったのは新しい漁法が発明された江戸後期になってからです。秋のサンマは脂肪分が多く美味で、とくに塩焼きは日本の「秋の味覚」の代表とも呼ばれます。日本では、塩焼きにしてスタチ、ユズ、レモンなどの搾り汁やポン酢、醤油などをかけ、大根おろしを添えて食べることが多いようです。サンマには、血液の流れを良くするといわれるエイコサペンタエン酸(EPA)や体内の悪玉コレステロール(LDL)を減らす作用もあるそうなので、ぜひ、みなさんもサンマ料理を楽しんでみてください。わが町もこれからが「ゆず」の最盛期! サンマ料理のお供にいかがでしょうか。



現在、町勢要覧の編集を行っています。そんな関係で、普段にも増して、写真撮影に出かける回数が多くなっています。これから、流鏝馬祭り、産業まつりなどのイベントが続きますので、良い写真が撮影できるようがんばりたいと思います。町勢要覧は、来年3月に全戸配布する予定ですので、ご期待ください。(Y)

わがやのアイドル



木村 優斗くん
(3歳6か月)
元気くん
(2歳7か月)

優ちゃんと元ちゃんは、トーマスが大好きで、トーマスの仲間の名前がたくさんいえます。いつも2人で、自転車に乗ったり、公園で遊んだりして仲よし兄弟です。男の子らしく、やさしい子になってね!!



末田 さくらちゃん
(4歳5か月)
颯太くん
(2歳6か月)

トーマスとバスが大好きな颯太です。さくらは少々おてんばな女の子ではありませんが、弟をかわいがってくれるやさしいお姉ちゃんです。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
☎・問 役場秘書広報課 ☎(295)2112 内線332

広報もろやま 10月20日号 No.830 〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
■発行 毛呂山町 ■1部当り 31.9円 TEL 049(295)2112 Fax 049(295)0771
■編集 秘書広報課広報広聴係 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

人口 36,896人(−19人)
【男 18,430人(−15人) 女 18,466人(−4人)】
世帯 15,696戸(−1戸)
※平成21年10月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。